

受験者各位

堺市教育委員会事務局  
教職員人事課長

## 平成31年度 堺市立学校教員採用選考試験1次筆答試験における問題の誤りについて

平成30年6月30日（土）に実施しました標記試験において、問題の一部に不適切な箇所があり、下記のとおり取り扱うこととしましたので、お知らせします。

## 記

## 1 誤りのあった問題

1次筆答試験 問題番号20（大阪府、大阪市、豊能地区教職員人事協議会と共通問題）

## 2 誤りの内容

問題本文中に複数の読み取りができる表現があり、読み取り方によっては矛盾が生じるものであった。

## 3 対応

同試験の受験者全員を正解とします。

**当該問題**

ある大学の理学部にはP学科、Q学科、R学科の三つの学科がある。P学科、Q学科、R学科における入学者選抜において、受験者は全員出願時に第一志望の学科と、第一志望の学科を除く二つの学科から第二志望の学科をそれぞれ一つずつ選ぶ。表1は各学科の定員とその志望状況である。入学者選抜試験においては各学科とも共通の試験を用い、試験の満点は100点である。表2はP学科、Q学科、R学科のそれぞれの第一志望者の点数の分布を、50点以上と50点未満に分けて示したものである。受験者の中で、点数が同点であった者はいなかったものとする。

表1

学科	P	Q	R
定員	20	20	20
第一志望	40	25	15
第二志望	40	31	9

(単位：人)

表2

第一志望の学科	P	Q	R
50点以上	30	18	5
50点未満	10	7	10

(単位：人)

合格者は各学科ごとに次のような手順で決定する。

- ① 各学科の第一志望者の中で、入学者選抜試験の点数が50点以上であった者に対して順位をつけ、合格者を決める。
- ② ①で定員に満たなかった場合、①で合格した者を除き、各学科において第一志望者と第二志望者を合わせて順位をつけ、残りの合格者を決める。

このとき、確実にいえるものはどれか。1～5から一つ選べ。

- 1 合格者が定員に達しない学科が出る。
- 2 R学科を第一志望とした者は、全員R学科に合格する。
- 3 P学科またはR学科に合格した者の中には、Q学科を第一志望とした者が含まれる。
- 4 Q学科に合格した者の中には、P学科を第一志望とした者が含まれる。
- 5 合格者の平均点は、P学科が最も高くR学科が最も低い。

※「受験者の中で、点数が同点であった者はいなかったものとする。」とあるが、「受験者」を「全受験者」、表1における「各学科内の受験者」又は表2における「各学科内の第一志望の受験者」と複数読み取れる表現であったため、読み取り方によっては矛盾が生じる。